

「橋梁架設工事の積算 平成20年度版」正誤表

【本編】

2008.11.14現在

頁	訂正箇所	誤	正
114	2.3.3 ケーブルクレーンおよびケーブルクレーンエレクション設備 (5)-5-3) (D) フォワードケーブル調整装置の損料 a) ワイヤ線込み式調整設備 表2-68 の諸雑費の規格欄	上記計の2%	上記計の3%
139	2.3.5 架設設備 (3) 架設桁質量算定式 1行目 (式3-5-1) 5行目	$W_2 = L \times \frac{0.0004 \times Mr + 0.5819}{-max - 0.00005 \times max^2}$ 単純桁の場合 $L = 1.2 \times$	$W_2 = L \times \frac{0.0004 \times Mr + 0.5819}{1.0 - 0.00005 \times max^2}$ 単純桁の場合 $L = 1.2 \times max$
165	2.3.6 送出し設備 (横取り降下設備を含む) (5) 横取り降下設備の数量算定 3) 降下設備の数量算定 (ハ) ジャッキの能力および台数 5行目	表2-407に上記内容を考慮したジャッキの台数(1橋脚(橋台)当り)	表2-103に上記内容を考慮したジャッキの台数(1橋脚(橋台)当り)
215	2.5.2 橋体組立 (3) 送出し架設工 3) サンドルによる降下作業歩掛 表2-143 の編成人員列左側のN橋脚当りの欄 最下段	N 3とする	N ₄₀ 3とする
232	2.5.4 足場工、防護工および登り棧橋工 (7) 少数主桁橋の足場工及び防護工 2) 床版足場 表2-166 の最下段	全頁による	前頁による
256	2.5.7 歩道橋架設工 (9) 単価表 4) ゴム支承据付工 (側道橋) の単価表 タイトル 表右上の単価表単位	4) ゴム支承据付工 (側道橋) 1橋当り単価表 (1橋当り)	4) ゴム支承据付工 (側道橋) 1個当り単価表 (1個当り)
287	2.8.3 施工歩掛 (5) 場所打ちPC床版工 (固定型枠工法) 2) 固定型枠の製作・設置・撤去工 表2-256 表下注2	2. 橋梁形式による補正は、表2-207による。	2. 橋梁形式による補正は、表2-204による。
289	(5) 場所打ちPC床版工 (固定型枠工法) 3)と5)の間(289頁の冒頭)に4)として挿入		4) 鉄筋工、排水樹設置工、コンクリート工、養生工 鉄筋工、排水樹設置工、コンクリート工、養生工は、 「(1)RC床版工3)~6)」による。また、生コンクリートは膨張 コンクリートを標準とする。
320	2.9.1 トラッククレーンベント工法(1) 直接工事費 第1-2号 ベント設備工内訳書 ベント機械損料の備考欄	136.4t × 605/t・日 = 87,023円/日	136.4t × 605/t・日 = 82,522円/日
348	2.9.3 ケーブルエレクション(直吊り)工法 〔解説〕 継手現場塗装工 の3行目	継手部外面塗装面積114.4㎡(3回塗り)、 継手部内面塗装面積171.6㎡(4回塗り)	継手部外面塗装面積114.4㎡(5回塗り)、 継手部内面塗装面積171.6㎡(3回塗り)
492	2.9.10 少数主桁の送出し工法 〔解説〕 降下工 表2-143 の編成人員列左側のN橋脚当りの欄 最下段 同表 の 編成人員列右側のN橋脚当りの欄最 上段	N 3とする N	N ₄₀ 3とする N ₄₀
717	3.6.8 PC橋片持架設工 (16) 地覆高欄作業車設備工 地覆高欄作業車組立・解体工単価表 単価3-G-1号表 のトラッククレーン賃料の規格欄	油圧伸縮ジブ型45t吊り	油圧伸縮ジブ型25t吊
733	3.6.11 定置式門型クレーン架設工法 (7) アンカー工単価表 表3-182 アンカーの設置箇所数	3連: 箇所数 46 4連: 箇所数 48	3連: 箇所数 14 4連: 箇所数 16
775	3.6.16 横組工(プレキャスト桁橋) (5) 足場工及び防護工 2) PCコンボ橋用足場防護工 ロ. ワイヤブリッジ防護工 の計算式	ワイヤーブリッジ防護工費 = {175x + (0.045 + 0.03)y} × A (円) (組立)(解体)	ワイヤーブリッジ防護工費 = (229 + 59x + 0.045y + 0.019z) × A (円) (組立)(解体)
776	(6) 機械器具損料 単価3-92号表 の(注)書き	(注)1. 横組工、支承工、落橋防止工に使用する機械器具 損料である。	(削除)
784	3.6.18 床版工(PCコンボ橋、PC合成桁橋) (3) コンクリート工単価表 表3-225 の設計日打設量 の項目左から2列目	50m ³ 以上600m ³ 未満	300m ³ 以上600m ³ 未満
784	(4) 養生工単価表 表3-102 表右上の単価表単位 普通作業員の数量欄 諸雑費の名称、単位、数量、摘要欄	(40m ² 当り) 0.16 名称: 諸雑費、単位: 式、数量: 4、摘要: 記述なし	(100m ² 当り) 1.6 名称: 養生マット、単位: m ² 、数量: 110、摘要: 償却率25%
789	3.6.20 機能分離型支承設置工(PC橋新設) (1) 機能分離型支承設置工(平置型: 荷重支持部) 8) 単価表 橋梁世話役の摘要欄 ラフテレーンクレーン賃料の摘要欄 諸雑費の摘要欄	表2, 表3 表4, 表3 表4	表3-230, 表3-231 表3-229, 表3-231 表3-232
791	(2) 機能分離型支承設置工(平置型: 伝達部) 8) 単価表 橋梁世話役の摘要欄 ラフテレーンクレーン賃料の摘要欄 諸雑費の摘要欄	表7, 表8 表6, 表8 表9	表3-235, 表3-236 表3-234, 表3-236 表3-237
792	3.6.21 落橋防止工 (1) 落橋防止装置設置工単価表 単価3-108号表 の橋梁世話役の摘要欄 同 諸雑費の摘要欄 表3-228 の表題 表3-229 の表題	表3-229 表3-230 表3-228 落橋防止装置設置歩掛 表3-229 諸雑費率(%)	表3-238 表3-239 表3-238 落橋防止装置設置歩掛 表3-239 諸雑費率(%)

注) 頁欄における 印表示項目は同2008.05.23版から、印表示項目は同2008.9.17版から追加した訂正事項となります。

[本編]

2008. 11 14現在

頁	訂正箇所	誤	正
794	3.6.22 外ケーブルPCケーブル工 (1)場所打固定支保工工法 外ケーブル工 1)PCケーブル工(固定支保工工法) 単価3-109-1号表 の摘要欄最上段	表3-234	表3-240
795	2)デアボ口管設置工 単価3-109-2号表 の諸雑費の摘要欄 3)PCケーブル緊張工(固定支保工工法) 単価3-109-3号表 の摘要欄最上段	表3-232 表3-233	表3-241 表3-242
797	5)PCケーブル工(固定支保工工法) 単価3-109-5号表 の橋梁世話役及び諸雑費の摘要欄	表3-234	表3-243
798	7)緊張機器損料(固定支保工工法) 単価3-109-7号表 の上から4項目 同 5項目	名称: 捌き櫓 , 単位: 個 , 数量: 2.0 , 摘要: 全損 名称: しゃもじ , 単位: 個 , 数量: 5.0 , 摘要: 全損	(全て削除) (全て削除)
799	(2)片持架設工法 外ケーブル工 1)PCケーブル工(片持架設工法) 単価3-110-1号表 の摘要欄最上段	表3-235	表3-244
800	2)PCケーブル定着工(片持架設工法) 単価3-110-2号表 の橋梁特殊工及び諸雑費の摘要欄	表3-236	表3-245
801	3)PCケーブル緊張工(片持架設工法) 単価3-110-3号表 の摘要欄最上段	表3-237	表3-246
803	5)PCケーブル工(片持架設工法) 単価3-110-5号表 の橋梁世話役及び諸雑費の摘要欄	表3-238	表3-247
804	6)緊張機器損料(片持架設工法) のタイトル 単価3-109-7号表 の上から4項目 同 5項目	6)緊張機器損料(片持架設工法) 名称: 捌き櫓 , 単位: 個 , 数量: 2.0 , 摘要: 全損 名称: しゃもじ , 単位: 個 , 数量: 5.0 , 摘要: 全損	6)緊張機器損料(片持架設工法) (全て削除) (全て削除)
805	3.6.23 プレグラウトPC鋼材横締工 (1)場所打固定支保工工法プレグラウトPC鋼材横締工 1)プレグラウトPC鋼材工(固定支保工工法) 単価3-111-1号表 の摘要欄最上段	表3-239	表3-248
805	同表 の(注)2	2. プレグラウトPC鋼材材料費はPC鋼材およびプレグラウト加工費を含む。	2. プレグラウトPC鋼材材料費はPC鋼材およびプレグラウト加工費(アフターボンド加算)を含む。
806	2)プレグラウトPC緊張工(固定支保工工法) 単価3-111-2号表 の橋梁世話役及び諸雑費の摘要欄	表3-240	表3-249
807	(2)片持架設工法プレグラウトPC鋼材横締工 1)プレグラウトPC鋼材工(片持架設工法) 単価3-112-1号表 の橋梁世話役及び及びラフ テレーンクレーン賃料の摘要欄	表3-244	表3-250
808	2)プレグラウトPC鋼材緊張工(片持架設工法) 単価3-112-2号表 の橋梁世話役及び諸雑費の摘要欄 3)プレグラウトPC鋼材固定工(片持架設工法) 単価3-112-3号表 の橋梁特殊工及び諸雑費の摘要欄	表3-242 表3-243	表3-251 表3-252
809	3.6.24 プレグラウトPC鋼材縦締工 積算フローの最下段 (1)プレグラウトPC鋼材縦締工 単価3-A号表 の表題 同表の摘要欄	プレグラウトPC鋼材 デッドアンカー工(単価3-A-5号表) 単価3-A号表 単3-113- 号表	プレグラウトPC鋼材 デッドアンカー工(単価3-113-5号表) 単価3-113号表 単価3-113- 号表
809	1)プレグラウトPC鋼材ケーブル工 単価3-113-1号表 の(注)1	1. プレグラウトPC鋼材材料費はPC鋼材およびプレグラウト加工費を含む。	1. プレグラウトPC鋼材材料費はPC鋼材およびプレグラウト加工費(アフターボンド加算)を含む。
826	3.7.1 ポストテンションPC単純T桁橋 11.横組工の積算構成および内訳 2)型枠・コンクリート工 単価3-89号表 の上から第1項目の名称欄	世話役	橋梁世話役
832~ 833	5)足場工 (ハ)登り桟橋工 登り桟橋工費算出式	登り桟橋工費 = {2,690x + 0.364y(組立) + 0.258y(解体)} × H(円) = (2,690 × 2 + 0.364 × 21,200 + 0.258 × 21,200) × 5 × 1 = 92,514 円	登り桟橋工費 = {2,942x + 0.407y(組立) + 0.292y(解体)} × H(円) = (2,942 × 2 + 0.407 × 21,200 + 0.292 × 21,200) × 5 × 1 = 103,514 円
849	3.7.2 PCコンボ橋 架設桁による架設 13.横組工の積算構成および内訳 2)型枠・コンクリート工 単価3-89号表 の上から第1項目の名称欄	世話役	橋梁世話役
852	6)足場工 (イ)横桁用足場工 の説明文	横桁用足場工は、木製・パイプ併用足場を標準とし、足場工費は次式を標準とする。なお、工費には側部(朝顔)などの費用も含まれる。	横桁用足場工は、木製・単管パイプ併用足場を標準とし、足場工費は次式を標準とする。
852~ 853	(ロ)ワイヤーブリッジ防護工(ワイヤーブリッジ転用しない場合)の算定式	ワイヤーブリッジ防護工費 = {175x + (0.045y(組立) + 0.030y(解体))} × A(円) = (175 × 1.5 + 0.045 × 21,200 + 0.030 × 21,200) × 92.56 × 10.7 = 1,834,704 円	ワイヤーブリッジ防護工費 = (229 + 59x + 0.045y(組立) + 0.019y(解体)) × A(円) = (229 + 59 × 1.5 + 0.045 × 21,200 + 0.019 × 21,200) × 92.56 × 10.7 = 1,658,213 円
853	(ハ)登り桟橋工 の算定式	登り桟橋工費 = {2,690x + 0.364y(組立) + 0.258y(解体)} × H(円) = (2,690 × 2 + 0.364 × 21,200 + 0.258 × 21,200) × 5 × 1 = 92,514 円	登り桟橋工費 = {2,942x + 0.407y(組立) + 0.292y(解体)} × H(円) = (2,942 × 2 + 0.407 × 21,200 + 0.292 × 21,200) × 5 × 1 = 103,514 円

注) 頁欄における 印表示項目は同2008.05.23版から、 印表示項目は同2008.9.17版から追加した訂正事項となります。

[本編]

2008. 11 14現在

頁	訂正箇所	誤	正
858	14.床版工の積算構成および内訳 4)養生工単価表 単価3-102号表 の上から2段目(養生マット) 同 の上から3段目(計) 同 の最下段	規格: 労務費計の33% 、単位:式、数量:4、単価:空欄、 金額:7,286、摘要:空欄 金額:29,366 金額:294	規格:(削除)、単位:m ² 、数量:110、単価:140、 金額:15,400、摘要:償却率25% 金額:37,480 金額:374
871	3.7.5 PCボステンション3径間連続中空床版橋 11.主桁製作工の積算構成および内訳 1)コンクリート工 (1)コンクリートポンプ車運転費 単価3-6-1号表 の上から2段目(燃料費) 同 の最下段(計)	数量:148、金額:14,504、 摘要:4,100h/150日=7.33 274kw×0.078×7 金額:78,140	数量:99、金額:9,702、 摘要:(記述削除) 金額:73,302
882	2)支保工単価表 単価3-66号表 の枠組支保工仮設材資料の備考欄	表3-55, 188 供用日数85日	表3-55, 188 供用日数90日
975	4.14 橋梁補強工、鋼板巻立て(1) (3)施工歩掛 2)鋼板巻立て工(1) 表4-81 施工歩掛(A支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	名称 単位 数量 諸雑費率 % 32(25) 手摺先行型枠組足場率 % 2(1)	名称 単位 数量 諸雑費率 % 37(29) (項目削除)
976	表4-82 施工歩掛(B支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 31(24) 手摺先行型枠組足場率 % 1(1)	諸雑費率 % 35(28) (項目削除)
	表4-83 施工歩掛(C支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 30(23) 手摺先行型枠組足場率 % 1(1)	諸雑費率 % 34(25) (項目削除)
	表4-84 施工歩掛(D支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 29(22) 手摺先行型枠組足場率 % 1(1)	諸雑費率 % 32(24) (項目削除)
977	表4-85 施工歩掛(E支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 33(26) 手摺先行型枠組足場率 % 2(2)	諸雑費率 % 40(31) (項目削除)
	表4-86 施工歩掛(F支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 32(25) 手摺先行型枠組足場率 % 2(1)	諸雑費率 % 37(29) (項目削除)
	表4-87 施工歩掛(G支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 31(24) 手摺先行型枠組足場率 % 1(1)	諸雑費率 % 35(26) (項目削除)
978	表4-88 施工歩掛(H支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 30(23) 手摺先行型枠組足場率 % 1(1)	諸雑費率 % 34(25) (項目削除)
988	4.16 橋梁補強工、コンクリート巻立て (4)コンクリート巻立て工 4)施工歩掛 表4-99 施工歩掛(A支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	名称 単位 a施工 b施工 c施工 d施工 諸雑費率 % 37(34) 37(34) 16(13) 17(13) 手摺先行型枠組足場率 % 10(11) 12(12)	名称 単位 a施工 b施工 c施工 d施工 諸雑費率 % 51(49) 53(50) 16(13) 17(13) (項目削除)
989	表4-100 施工歩掛(B支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 35(33) 38(35) 17(14) 18(14) 手摺先行型枠組足場率 % 10(10) 11(11)	諸雑費率 % 48(46) 53(50) 17(14) 18(14) (項目削除)
	表4-101 施工歩掛(C支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 34(31) 37(34) 17(13) 18(14) 手摺先行型枠組足場率 % 9(9) 10(10)	諸雑費率 % 46(43) 51(47) 17(13) 18(14) (項目削除)
	表4-102 施工歩掛(D支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 32(30) 36(32) 17(13) 18(13) 手摺先行型枠組足場率 % 9(9) 10(10)	諸雑費率 % 44(42) 50(45) 17(13) 18(13) (項目削除)
990	表4-103 施工歩掛(E支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 31(29) 35(31) 17(13) 18(13) 手摺先行型枠組足場率 % 8(8) 9(9)	諸雑費率 % 41(39) 47(43) 17(13) 18(13) (項目削除)
	表4-104 施工歩掛(F支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 30(27) 34(30) 17(13) 18(13) 手摺先行型枠組足場率 % 8(8) 9(9)	諸雑費率 % 40(37) 46(42) 17(13) 18(13) (項目削除)
	表4-105 施工歩掛(G支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 29(26) 32(28) 17(13) 18(13) 手摺先行型枠組足場率 % 7(7) 8(8)	諸雑費率 % 38(35) 43(38) 17(13) 18(13) (項目削除)
991	表4-106 施工歩掛(H支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 28(25) 31(27) 17(13) 18(13) 手摺先行型枠組足場率 % 6(7) 7(8)	諸雑費率 % 36(34) 40(37) 17(13) 18(13) (項目削除)
	表4-107 施工歩掛(I支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 36(33) 39(36) 18(15) 20(16) 手摺先行型枠組足場率 % 10(10) 11(11)	諸雑費率 % 50(46) 54(51) 18(15) 20(16) (項目削除)
	表4-108 施工歩掛(J支柱)の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 33(30) 37(33) 18(14) 20(15) 手摺先行型枠組足場率 % 8(8) 9(10)	諸雑費率 % 44(40) 49(46) 18(14) 20(15) (項目削除)
992	(5)施工歩掛 1)足場工 表4-109 の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	名称 単位 数量 諸雑費率 % 42 手摺先行型枠組足場率 1.28	名称 単位 数量 諸雑費率 % 82 (項目削除)
998	4.17 コンクリート床版の炭素繊維補強工法 1.1.1 吊り足場工費 の冒頭4行の文章	吊り足場工は、H17吊足場を標準とし、足場工費は次式による。 補強工事は既設桁に足場を設置することから道路上等で交通規制を伴う場合があり、作業時間を受ける場合を算式に考慮した。尚、交通規制に関わる費用は別途計上する。	吊り足場工は、H17吊足場を標準とし、足場工費は次式による。 (2行削除)
999	1.1.2 防護工 シート張防護工費算定式の記号 Xの説明文	X:防護工を架設している供用日数	X:防護工を架設している供用月数
1048	4.20 積算例 6.鋼製橋脚補修工事 3)部材取付部塗膜研削工 表4-59号 の最下段 1.0m ² 当り単価	4,537	13,611
1056 ~ 1073	5.1 橋梁架設用仮設備機械等損料表 各頁の列見出し最上段の左から3列目	平成18年度損料	平成20年度損料
1067	機械名:片持架設用移動作業車(PC桁用) 波形ウェブ2主桁 # 14m以下 2,450kN・m(250t・m) 供用日数	供用日数 170	供用日数 180

注) 頁欄における 印表示項目は同2008.05.23版から、印表示項目は同2008.9.17版から追加した訂正事項となります。

頁	訂正箇所	誤	正
79	12. 橋梁補強工 鋼板巻立て(1) [4. 14] 積算要領欄 鋼板巻立て工 表4-81~88 施工歩掛 の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	A B C D E F G H 32(25) 34(24) 30(23) 29(22) 33(26) 32(25) 34(24) 30(23) 2(1) 1(1) 1(1) 1(1) 2(2) 2(1) 1(1) 1(1)	A B C D E F G H 37(29) 35(28) 34(25) 32(24) 40(31) 37(29) 35(26) 24(25) (項目削除)
85	14. 橋梁補強工 コンクリート巻立て(1) [4. 16] 積算要領欄 コンクリート巻立て工 表4-99 施工歩掛 (A支柱) の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	名称 単位 a施工 b施工 c施工 d施工 諸雑費率 % 37(34) 37(34) 16(13) 17(13) 手摺先行型枠組足場率 % 10(11) 12(12)	名称 単位 a施工 b施工 c施工 d施工 諸雑費率 % 51(49) 53(50) 16(13) 17(13) (項目削除)
86	【別表】 コンクリート巻立て工(B支柱~J支柱)施工歩掛 表4-100 施工歩掛 (B支柱) の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率 表4-101 施工歩掛 (C支柱) の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率 表4-102 施工歩掛 (D支柱) の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 35(33) 38(35) 17(14) 18(14) 手摺先行型枠組足場率 % 10(10) 11(11) 諸雑費率 % 34(31) 37(34) 17(13) 18(14) 手摺先行型枠組足場率 % 9(9) 10(10) 諸雑費率 % 32(30) 36(32) 17(13) 18(13) 手摺先行型枠組足場率 % 9(9) 10(10)	諸雑費率 % 48(46) 53(50) 17(14) 18(14) (項目削除) 諸雑費率 % 46(43) 51(47) 17(13) 18(14) (項目削除) 諸雑費率 % 44(42) 50(45) 17(13) 18(13) (項目削除)
87	表4-103 施工歩掛 (E支柱) の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率 表4-104 施工歩掛 (F支柱) の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率 表4-105 施工歩掛 (G支柱) の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率 表4-106 施工歩掛 (H支柱) の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率 表4-107 施工歩掛 (I支柱) の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率 表4-108 施工歩掛 (J支柱) の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	諸雑費率 % 34(29) 35(34) 17(13) 18(13) 手摺先行型枠組足場率 % 8(8) 9(9) 諸雑費率 % 30(27) 34(30) 17(13) 18(13) 手摺先行型枠組足場率 % 8(8) 9(9) 諸雑費率 % 29(26) 32(28) 17(13) 18(13) 手摺先行型枠組足場率 % 7(7) 8(8) 諸雑費率 % 28(25) 34(27) 17(13) 18(13) 手摺先行型枠組足場率 % 6(7) 7(8) 諸雑費率 % 36(33) 39(36) 18(15) 20(16) 手摺先行型枠組足場率 % 10(10) 11(11) 諸雑費率 % 33(30) 37(33) 18(14) 20(15) 手摺先行型枠組足場率 % 8(8) 9(10)	諸雑費率 % 41(39) 47(43) 17(13) 18(13) (項目削除) 諸雑費率 % 40(37) 46(42) 17(13) 18(13) (項目削除) 諸雑費率 % 38(35) 43(38) 17(13) 18(13) (項目削除) 諸雑費率 % 36(34) 40(37) 17(13) 18(13) (項目削除) 諸雑費率 % 50(46) 54(51) 18(15) 20(16) (項目削除) 諸雑費率 % 44(40) 49(46) 18(14) 20(15) (項目削除)
89	15. 橋梁補強工 コンクリート巻立て(2) [4. 16] 積算要領欄 足場工 表4-109 施工歩掛 の諸雑費率 同 の手摺先行型枠組足場率	数量 諸雑費率 42 手摺先行型枠組足場率 1.14	数量 諸雑費率 82 (項目削除)
91	16. コンクリート床版の炭素繊維補強工法 [4. 17] 積算要領欄 補修用足場工 2) 防護工費の算出 シート張防護工費算定式の記号 Xの説明文	X: 防護工を架設している供用日数	X: 防護工を架設している供用月数

注) 頁欄における 印表示項目は同2008.05.23版から、 印表示項目は同2008.9.17版から追加した訂正事項となります。